

会 議 研 修 等 報 告 書

会議・研修会名称	令和5年度第6回此花区在宅医療・介護連携推進会議実務者打合せ会		
日 時	令和6年3月14日(木) 14:20～15:15		
場 所	此花区役所3階講堂A(此花区春日出北1-8-4)		
参加者	板東会長、安田副会長、楠原、田中他	<ゲスト:服巻警部補>	計 19 名
内 容			
<p>1. 開会・挨拶 田中、司会、進行</p> <p>開会の後、板東会長から「新型コロナも5類になった。益々、多職種連携を密にしていきたいので、宜しくお願いしたい」旨の挨拶があった。次に、配布資料の確認があった。</p> <p>2. 報告・連絡 各団体から、次の通り報告等があった。 <>内は発言者</p> <p>(1) 次回打合せ会は、5月29日(水)午後2時からの予定(於・此花区役所3階講堂A)。</p> <p>(2) 警察署<服巻>: 此花区内の特殊詐欺状況(昨年20人・今年3人)報告、特殊詐欺防止のための国際電話利用休止方法、対策機器貸与に関する案内があり、防止策として「固定電話の解約が一番」とされた。一方、自殺念慮者への相談先に対する質問があり、後日資料を提示するとした(翌日提示)。</p> <p>(3) 区役所<小川>: 「特定健診の受診率アップ、血管年齢測定の実施をしていきたい」とされた。これには、楠原氏の提案もあり、「まちの保健室」とのジョイントを検討していくこととなった。他に、資料内容の確認や此花区制100周年事業、認知症予防についてなど。</p> <p>(3) 医師会<田中>: 「ACP研修会」(3月5日・火)の参加者は75名(冊子配布)、意思決定支援についてなど。もしバナゲームには、「少人数実施なので、個別に参加を依頼していきたい」とされた。</p> <p>(4) 歯科医師会<安田>、薬剤師会<武智>、暁明館病院<佐伯>: 特になし。ただ、暁明館病院の「無料健康セミナー」については、「年間計画表が出来たら提示してほしい」とされた。</p> <p>(6) 訪問看護<大江>: (ターミナルを事例とした)事例検討会(2月19日・月)の参加者は26名。他に、大阪府看護協会のACP研修会の開催についてなど。</p> <p>(7) 地域包括<片倉>: 民生委員児童委員が参加した「事例検討会」を開催(3月12日・火)。次年度も第3木曜日午前中に「まちの保健室」を開催予定。</p> <p>(8) 南西部地域包括<松本>: 「認知症ケアパス」のパイロット版が出来た。「使い勝手の意見を踏まえて、改訂していきたい」とされた。他に、認知症ネットワーク会議実行委員会の開催について。</p> <p>(9) 春日出ランチ<増田>: 「特殊詐欺防止と特定健診の受診勧奨を意識しながら、特に一人暮らしの高齢者に接していきたい」との抱負があった。</p> <p>(10) 居宅介護支援事業者<加藤>: 2月20日(火)に連絡会を開催。「4月から役員が変わる」と報告。</p> <p>3. その他・閉会</p> <p>田中から、資料として、内閣官房認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議資料(認知症基本法に基づく)、高齢者サポートサービス「厚生労働省のこれまでの取組」、同パンフレット(消費者庁・厚生労働省)、場面毎のサービス・事業・関与者一覧表、大阪市消費者センター「エルちゃんのトラブルバイバイニュース」の提示があり、若干の説明があった。この中で、「国は最近、ACPではなく、意思決定支援を盛んに言い出している」(田中)とされた。</p> <p>最後に、田中から閉会の辞があった。</p>			